

現地見学会

8:45 ～ 【会 場】タデ原湿原、九重ふるさと自然学校他 各施設

① 発見！行って見て感じる 草原の新たな魅力

タデ原で長年ガイドをつとめている九重の自然を守る会による自然観察会を実施します。

【見学エリア】
タデ原湿原



② 草原と共生する 自然学校の魅力めぐり

リニューアルした茅葺屋根の事務所のお披露目や草原での生きもの観察などを実施します。

【見学エリア】
九重ふるさと自然学校



③ 生物多様性ここのえ戦略 重要スポットめぐり

町内の代表的な自然がある地域（重要スポット）を巡り、自然環境について解説します。

【見学エリア】
小松地獄、泉水など



④ 九重町ならではの 自然環境を体感しよう！

雄大な渓谷美や地熱のパワーを感じることができる見学会です。

【見学エリア】
九重“夢”大吊橋、八丁原発電所



全国草原サミット

12:30 ～ 【会 場】九重星生ホテル

管内に草原を持つ全国の市町村長が集い、各草原の特徴や草原の抱える課題を報告しあい、それに基づき、課題解決と、今後次世代にどうつなげていくかを論議し、ここのえ大会サミット宣言を採択します。

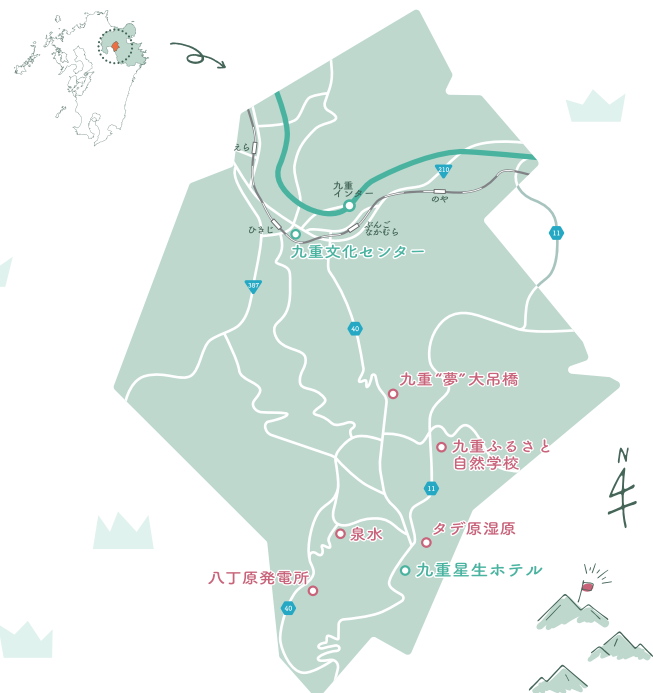
大分県 九重町

大分県・九重町（ここのえまち）は、大分県の南西部に位置し、豊かな自然と調和しながら暮らしが営まれている町です。町の中央には、筑後川の上流にあたる玖珠川が東西に流れ、南東部には「九州の屋根」とも呼ばれる1700m級の名峰が連なるくじゅう連山が広がります。

町域の約半分が「阿蘇くじゅう国立公園」と「耶馬日田英彦山国定公園」に指定されており、四季折々の貴重な自然環境を身近に感じることができます。



九重町
マスコットキャラクター
ミヤちゃん



第15回 全国草原サミット・シンポジウム in ここのえ大会実行委員会
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町後野上8-1 九重町役場 住民環境課内 TEL：0973-76-3802 FAX：0973-76-3840

主催

第15回
全国草原サミット・シンポジウム
in ここのえ大会実行委員会

後援

環境省・農林水産省・大分県・九重町

協賛

一般財団法人
セブン・イレブン記念財団

第15回 全国草原サミット・シンポジウム in ここのえ



未来へつなぐ 野焼き文化と草原のめぐみ

草原保全にかかわる全国の仲間が一堂に会し、草原について語り合う場として開催するのが全国草原サミット・シンポジウムです。
九重町では、草原の素晴らしさを全国にアピールするとともに、草原を維持するための野焼きや、草原にすむ植物や生きものの保全のための知識や技術を共有し、草原を未来につなげていくことを目的とし、開催します。

タデ原湿原 たんけんツアー

9:30 受付 10:00 探検開始 12:00 探検終了

【会 場】タデ原湿原 【対 象】小学3年～中学3年
「チームタデ原（九重町の小中学生）」のメンバーと一緒に、晩夏のタデ原湿原を探検するプログラムです。

「未来に残したい草原の里100選」認定書授与式

【会 場】九重文化センター

全国草原シンポジウム

【会 場】九重文化センター他 各会場

9/5
土

11:15 受付
12:00 オープニング・開会式
12:50 基調講演
「人と自然との共生を考える、人は自然の一部である～持続可能な未来に向けて私たちが行うこと～」
13:45 パネルディスカッション
「私たちの草原を未来につなげていくために」
14:55 休憩・移動

15:10 分科会
第1分科会 「野焼きを未来へつなぐには？継続のポイントを探る」
第2分科会 「くじゅうの草原・湿原の彩りを護る！生物多様性の価値と保全」
第3分科会 「草原が守る、わたしたちの暮らし～減災と水を育む草原の力～」
第4分科会 「草原文化の記憶を伝える」
16:55 全体会
17:30 シンポジウム終了

交流会 （19:00開会、21:00閉会）

【会 場】九重星生ホテル

現地見学会

【集 合】九重星生ホテル
【会 場】タデ原湿原、九重ふるさと自然学校他 各施設

8:15 受付 8:45 見学開始（各自終了後解散） 11:15 昼休憩

- ①「発見！行って見て感じる草原の新たな魅力」
- ②「草原と共生する自然学校の魅力めぐり」
- ③「生物多様性ここのえ戦略重要スポットめぐり」
- ④「九重町ならではの自然環境を体感しよう！」

全国草原サミット （12:30開会、14:30閉会）

【会 場】九重星生ホテル

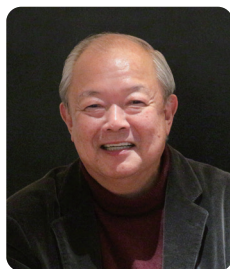
9/6
日

基調講演

12:45 ～ 【会 場】九重文化センター ホール

「人と自然との共生を考える、人は自然の一部である ～持続可能な未来に向けて私たちが行うこと～」

気候変動や生物多様性の喪失など、大量生産・大量消費を前提とした社会は多くの課題を抱えています。しかし日本には古くから、森や里山の恵みを受けながら自然と折り合いをつけて暮らす知恵がありました。人は自然を管理する存在ではなく、その循環の一部にすぎません。講演では、農学博士として国内外の森林や農山村を歩いてこられた渋沢寿一氏に、人と自然との関わり方と、次の世代へ何を手渡すのかをお話しいたします。



講師

渋沢 寿一 氏

（農学博士、株式会社エスパシオ代表取締役、公益財団法人真庭エスパス文化振興財団）

1952年生まれ。1980年東京農業大学大学院修了。国際協力機構専門家としてパラグアイに赴任後、長崎オランダ村、ハウステンボスの企画、経営に携わる。現在は、NPO法人共存の森ネットワーク理事長。森林文化の教育・啓発を通して、人材の育成や地域づくりを手がける。明治の実業家・渋沢栄一の曾孫。農学博士。

パネルディスカッション

13:40 ～ 【会 場】九重文化センター ホール

「私たちの草原を未来につなげていくために」

九重町内で活動する自然環境保全団体によるパネルディスカッションです。各団体がこの地で活動を始めた原点（きっかけ）をはじめ、日々の活動や草原保全において現在直面している課題を参加者の皆様と共有します。現場のリアルな声に耳を傾け、かけがえのない草原を未来へつなげていくために、私たちが今なすべきことを共に考えます。

コーディネーター

足立 高行 氏

（おおいた生物多様性保全センター）

昭和55年自然観察指導員。自然観察会の企画、運営。NACS-Jの参与・自然観察指導員講習会講師。平成17年NPO法人おおいた生物多様性保全センター設立。大分県内の生物多様性保全のための基礎調査から保全の実施策策定まで手伝う。九重町自然環境保全推進委員など。

パネリスト

高橋 裕二郎 氏（飯田高原野焼実行委員会 会長）

小山 正記 氏（九重の自然を守る会 事務局長）

木村 結季 氏（玖珠美山高校1年／元チームタデ原メンバー）

川野 智美 氏（九重ふるさと自然学校 代表）

分科会

15:10 ～ 【会 場】九重文化センター他 各会場

第1分科会

【会 場】
保健福祉センター 大会議室

「野焼きを未来へつなぐには？ 継続のポイントを探る」

野焼きを未来へつなぐため、現在の体制や関係者の思いを共有し、継続に向けた議論を行います。人材や資金不足、安全管理などの課題解決に必要な手立てを探り、「継続のポイント」を深掘りします。地域の貴重な財産である草原を守るため、これからの野焼きのあり方をともに考える分科会です。

コーディネーター

鷲津 大輔 氏

（阿蘇グリーンストック 常務理事）



発表者

高橋 裕二郎 氏（飯田高原野焼実行委員会 会長）

永尾 宗忠 氏（飯田高原野焼実行委員会）

森 清信 氏（飯田高原野焼実行委員会）

弘藏 岳久 氏（坊ガツル野焼き実行委員会）

黒仁田 瑞洋 氏（坊ガツル野焼き実行委員会）

第3分科会

【会 場】
九重文化センター 大会議室

「草原が守る、わたしたちの暮らし ～減災と水を育む草原の力～」

筑後川源流がある九重町の草原は、豊かな水を育むだけでなく、下流域の土砂災害を緩和する減災の役割も担っています。本分科会では、地形・地質や過去の災害から草原の重要性を解説するとともに、今後の上下流のつながりや、草原と河川を通じた連携について深掘りします。人と草原の距離が遠のいた現代においても、草原が地域全体の暮らしを守る大切な基盤であることをともに考える分科会です。

コーディネーター

三崎 貴弘 氏

（大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター 講師）



発表者

中島 重人 氏（Good News/環境カウンセラー）

第2分科会

【会 場】
九重文化センター ホール

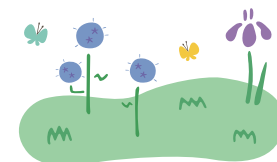
「くじゅうの草原・湿原の彩りを護る！ 生物多様性の価値と保全」

くじゅうの草原・湿原における生物多様性の学術的価値と、人と自然の関わりの変遷を紐解きます。また、ラムサール条約登録湿地「タデ原湿原」における植生の変化や、九重ふるさと自然学校の生物相の特色、生物多様性保全のための草原管理の紹介を通して、現在の草原が抱える課題について共有し、くじゅうの美しい自然の彩りを護り、未来へ継承するための具体的な保全のあり方を探ります。

コーディネーター

川野 智美 氏

（九重ふるさと自然学校 代表）



発表者・コメンテーター

大窪 久美子 氏（信州大学 農学部 教授）

田島 尚 氏（九重ふるさと自然学校）

赤峰 佐代子 氏（九重の自然を守る会）

福嶋 司 氏（東京農工大学 名誉教授）

番匠 克二 氏（九州環境局 局長）

第4分科会

【会 場】
九重町役場 301 会議室

「草原文化の記憶を伝える」

かつて、草原は人々の生活と密接に結びつき、そこには自然との多様で豊かな関わりがありました。しかし現代において、草原との関わり方は画一化されつつあります。本分科会では、地域に息づく伝統行事などを通して、失われつつある草原に関する「地域の記憶」を紐解きます。草原が持つ「文化的価値」を再認識し、自然と共生する新たな日常のあり方を共に探求します。

コーディネーター

足立 高行 氏

（おおいた生物多様性保全センター）



発表者

時松 和弘 氏（蕨原おわて）

全体会

16:55 ～ 【会 場】九重文化センター
ホール

各分科会における討議の内容を全員で共有し、総括するとともに、「草原が育んだ知識や技術の伝承」の観点から理解を深め、草原維持のための課題と解決の方向性、役割分担、行政への要望などについて討議します。

コーディネーター

高橋 佳孝 氏

（全国草原再生ネットワーク 代表理事）

1979年農林水産省に入省以来、草原に関わる幅広い問題に取り組む。現在、阿蘇草原再生協議会会長。専門は草地生態学・草地管理学。